

| | | | |
|---|---|-----------------|---------|
| AIによる人間情報解析 Human Sensing by Artificial Intelligence | | 配当学年 | 1～4年 |
| | | 開講学期 | 前期・集中講座 |
| | | 単位数 | 1 |
| | | 単位区分 | |
| 担当教員 | 富山県立大学 教員 | 関連する 学習・教育目標 | |
| 授業の目標 | 人工知能（AI）のしくみ、生体情報の計測や解析に関わる幅広い知識を修得し、人間情報解析とAIの関係について理解を深める。 | | |
| 学生の到達目標 | ① AIの基礎を理解し、その仕組みを説明することができる。 ② 生体情報計測の原理を理解し、AIとの関連を説明することができる。 | | |
| 授業計画 | ① 人間情報計測・解析の基礎 ② AIのしくみ ③ 手の動きの情報処理とパターン認識 ④ パターン認識実践 ⑤ 生体個人認証と感情推定技術 ⑥ 脳情報計測とブレイン・マシン・インタフェース ⑦ デジタル技術によるヒトの見守り・ヘルスケア ⑧ AIに基づくヒューマンセンシング技術とその応用 | | |
| キーワード | 人工知能、深層学習、生体情報、センサ、パターン認識、python、バイオメトリクス、脳情報学、BMI、ヘルスケア、DX | | |
| 成績評価法 | レポートによって評価する。 | | |
| 成績評価基準 | レポート（100%） | | |
| 教科書・教材参考書等 | | | |
| 関連科目・履修条件等 | 高等学校の数学および物理の知識を有していることが望ましい。 | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 講義日に資料を配付するので、授業後に復習し、理解の助けとすること。 <u>ノートパソコンを持参すること（第4回の講義で使用）</u> | | |
| 学生からの質問への対応方法 | E-mail: takano@pu-toyama.ac.jp | | |